

ユーザーマニュアル

MINIBRUTE

ANALOG SYNTHESIZER

MiniBrute Connection

ソフトウェア エディター 1.0



1st edition: June 2012

本マニュアルに記載されている情報は、予告なしに変更されることがあり、そのことについて ARTURIA は責任を負いません。ハードウェアユニットと本マニュアルに記載されているソフトウェアは、ライセンス契約、またはノンディスクロージャー（非開示）契約の条件下で提供されています。ライセンス契約は、合法的な使用法を契約条件に指定します。

本マニュアルのいかなる部分も ARTURIA SA の明確な書面による許諾なく、購入者の個人使用以外の目的以外でいかなる形式でも生産、転載することはできません。本マニュアル内に記載されているその他の商品、ロゴ、会社名は、各社の商標、または登録商標です。

© ARTURIA S.A. 1999-2012, all rights reserved.

ARTURIA S.A.
4, chemin de Malacher
38240 Meylan
FRANCE
<http://www.arturia.com>

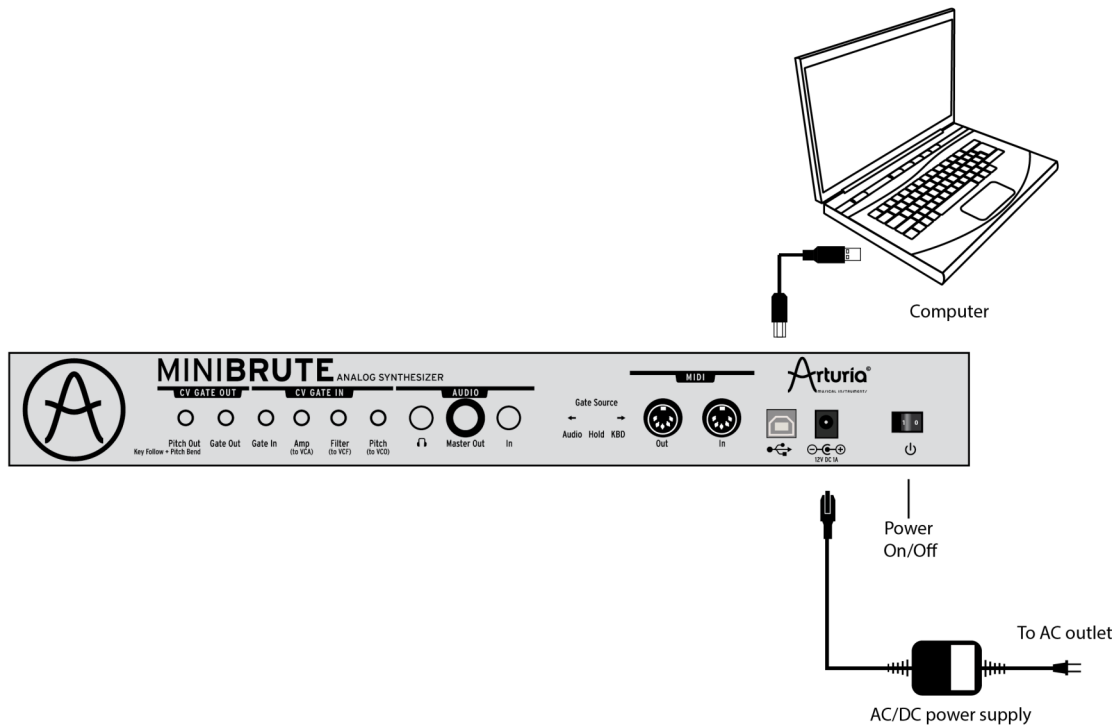
もくじ

1	インストール.....	3
1.1	ハードウェア.....	3
1.2	ソフトウェア.....	3
2	全体のコンフィグレーション.....	5
2.1	オーディオ入力.....	5
2.2	モジュール・パラメーター.....	5
2.2.1	LFO キー・リトリガー.....	6
2.2.2	エンベロープレガート・モード.....	6
2.2.3	アルペジエーター・ホールド.....	6
2.3	MIDI チャンネル・セレクト.....	7
2.3.1	送信チャンネル.....	7
2.3.2	受信チャンネル.....	7
2.4	キーボード・パラメーター.....	7
2.4.1	ノート・プライオリティ.....	8
2.4.2	ベロシティ・レスポンス.....	8
2.4.3	アフタータッチ・レスポンス.....	8
3	ファームウェアのアップデート.....	9
3.1	ファームウェアのバージョン.....	9
3.2	アップデートのチェック.....	9
3.3	ファームウェアのアップデート.....	9
3.4	トラブルシューティング.....	10
3.4.1	接続を確立できません。.....	10
3.4.2	アップデートが中断されました。.....	10

1 インストール

1.1 ハードウェア

付属の USB ケーブルを使用して MiniBrute とコンピューターを接続し、その後電源を入れてください。:



1.2 ソフトウェア

MiniBrute Connection ソフトウェア・エディターは、Arturia のウェブサイトから無料で手に入れることができます。:

<http://www.arturia.com/products/minibruteconnection>

上記 URL よりダウンロードしアーカイブを解凍し適当なフォルダに保存してください。詳細な手順はお使いのコンピューターのオペレーティングシステムによって異なります。

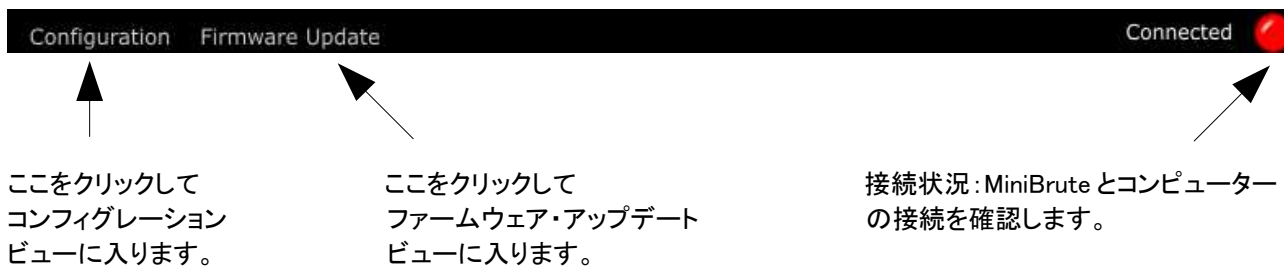
- Mac OS X は、“OSX”と表記します。
- Windows は、“Win”と表記します。


本ソフトウェアは、システム上のいかなる場所にもインストールを必要がなく、解凍したフォルダから直接起動することができます。もしアプリケーションを移動させる場合、常に“MBF”ファームウェア・ファイルを伴っていることを確認してください。

MiniBrute Connection ソフトウェア・エディターは、2つの主な機能を提供します。それは以下のページで説明されます。:

- 楽器全体のコンフィグレーション(第2章を参照してください。)
- 楽器のファームウェア・アップデート(第3章を参照してください。)

ツールバーを介して主な機能を切替えることができます。:




 ソフトウェアの初回起動時に、シンセサイザー上の古いファームウェアのバージョンを検出し、アップデートすることをお勧めすることがあります。この場合、ファームウェアアップデート・プロセスを実行されることを強くお勧めします。これは、第3章で説明する自動的に起動するのと同じプロセスです。

2 全体のコンフィグレーション



立ち上げた時点で、ソフトウェアが自動的に MiniBrute に保存された設定をロードします。

 パラメーターを変更すると、その設定は自動的にシンセサイザーに送られ、そのメモリーに保存されます。セーブ、再起動の必要は無く、設定はすぐに反映されます。

2.1 オーディオ入力



このセクションでは、オーディオのゲートスレッシュホールドを選択することができます。それは、エンベロープがトリガーされるオーディオレベルです。オーディオレベルは“low、medium、high”の3つのレベルから選択可能です。トグルスイッチをクリックして適正なレベルを選択してください。

2.2 モジュール・パラメーター



LFO トリガーエンベロープのレガートモードやアルペジエーター・ノートのソート順のような様々なモジュール・パラメーターを設定します。

2.2.1 LFO キー・リトリガー


LFO のトリガーモードを 2 種類の中から設定します。:

- **On:** キーを押すたびに LFO をリスタートさせます。
- **Off:** キーを押していない場合でも LFO は動作したままです。

2.2.2 エンベロープレガート・モード

レガート・モードのオン/オフをコントロールします。:

- **On:** 前の音が動作している間に新しい音を再生した場合、エンベロープは再びトリガーされません。
- **Off:** エンベロープは、キーを押すたびにトリガーされます。

 レガート・モードがオンになっている時は、それに応じてキーボードのノート・プライオリティを設定してください。(8 ページの 2.4.1, を参照してください)

2.2.3 アルペジエーター・ホールド

アルペジエーター・ホールド・モードがオンの時にノートをソートする順を設定します。

2 つの方法が提供されます。:

- **On:** ノートは時間順でソートされます; ノートを演奏した順にアルペジエイトします。“ミニセンサー”機能は、各ノートの複数の発生を入力できるので、ベースラインのパターンをプレーすることができます。
- **Off:** ピッチの順でソートされます。; アルペジエーターによくある“スタンダード”なモードです。

2.3 MIDI チャンネル・セレクト



このセクションでは、独立して MIDI 入出力を設定することができます。

2.3.1 送信チャンネル

楽器に MIDI メッセージを送信する MIDI 送信チャンネルを設定します。

MiniBrute が外部デバイスをコントロールする場合、このパラメーターを使用します。

使用できるチャンネルは 1 ~ 16 です。

ツマミを回転させて適切な MIDI チャンネルを選択してください。; 望ましい値になるまでステップを増やしてください。

2.3.2 受信チャンネル

楽器に MIDI メッセージを受信する MIDI 受信チャンネルを設定します。

MiniBrute が外部デバイスをコントロールする場合、このパラメーターを使用します。

使用できるチャンネルは 1 ~ 16 です。それと“All”を選択するとすべてのチャンネルを受信します。

ツマミを回転させて適切な MIDI チャンネルを選択してください。; 望ましい値になるまでステップを増やしてください。

2.4 キーボード・パラメーター



プレイモード、ベロシティ、及びアフタータッチ、レスポンスカーブなど、様々なキーボード・パラメーターを設定設定することができます。

2.4.1 ノート・プライオリティ




複数の鍵盤を演奏した時に発音する優先順位を設定します。:


- **High**: 最高音が優先されます。(ピッチソート)
- **Last**: 最後に演奏した音が優先されます。(タイムソート)
- **Low**: 最低音が優先されます。(ピッチソート)

2.4.2 ベロシティ・レスポンス

キーボードのベロシティ・カーブを設定します。

3つのカーブを用意しています。:




- : キーボードは、**線形(linear)**の値を送信し、キーボードをゆっくり弾くと低い値、速く弾くと高い値が送信されます。
- : キーボードは、**対数(logarithmic)**の値を送信し、キーボードをゆっくり弾かれた時でも高い値に達します。
- : キーボードは、**指数(exponential)**の値を送信し、キーボードをすばやく弾いた時だけ、最も高い値に達します。


 ベロシティは MiniBrute のサウンドやモジュレーションに影響を与えることはありません。MiniBrute が USB/MIDI 出力から出力するベロシティのデータにこのセッティングの違いは影響を与えます。

2.4.3 アフタータッチ・レスポンス

キーボードのアフタータッチ・カーブを設定します。

3つのカーブを用意しています。:

- : キーボードは、**線形(linear)**の値を送信し、キーボードへのプレッシャーが弱いと低い値を送信し、強いプレッシャーを与えると高い値を送信します。
- : キーボードは、**対数(logarithmic)**の値を送信し、キーボードへのプレッシャーが弱い時でも高い値に達します。
- : キーボードは、**指数(exponential)**の値を送信し、キーボードへのプレッシャーが強い時だけ、最も高い値に達します。

 MiniBrute フロントパネルでオンにするとアフタータッチは、フィルターのカットオフ・フリーケンシーや、ビブラートをコントロールすることができます。アフタータッチの値は、外部デバイスをコントロールするために MIDI を送信することができます。

3 ファームウェアのアップデート

3.1 ファームウェアのバージョン



お使いの MiniBrute シンセサイザーのファームウェア・バージョンを表示します。

3.2 アップデートのチェック



このボタンをクリックすると Web ブラウザーを開き、使用可能な最新バージョンをダイレクトにご案内します。インターネット上のバージョンが以前に表示されていたものよりも新しい場合、MiniBrute Connection アプリケーションを閉じ、最新版をダウンロードし、解凍して、新しいバージョンをインストールしてください。

3.3 ファームウェアのアップデート



アプリケーションに含まれるバージョンにマニュアルでファームウェアをアップデートするには、このボタンをクリックしてください。

アップデートプロセスは、数秒で終わります。オクターブ LED によって、更新の状況を表示します。プロセスが完了するまで決してユニットを外さないでください！

完了したら、最初に MiniBrute を再起動し、[OK]をクリックしてください。



3.4 トラブルシューティング

3.4.1 接続を確立できません。

[OK]をクリックする前に再起動をしない場合、繋いでいるユニットが見えなくなるかもしれません。これは簡単に修復可能です。:

1. MiniBrute Connection ソフトウェアを閉じます。
2. 楽器を再起動します。
3. もう一度 MiniBrute Connection ソフトウェアを起動し、接続を確認してください。

3.4.2 アップデートが中断されました。

何かがファームウェア・アップデート・プロセスの間(コンピューターのクラッシュ、USB ケーブルが抜けた等)にうまくいかなかった場合、インストゥルメントを元に戻す可能性があります。:

1. MiniBrute Connection ソフトウェアを閉じます。
2. オクターブダウン・ボタンを押しながら楽器を再起動してください。すべてのオクターブ LED が点灯しなければなりません。
3. MiniBrute Connection ソフトウェアを起動します。:ファームウェアの自動アップデートを求めるプロンプトが表示されます。しかしそれは動作しないのでキャンセルします。
4. **ファームウェア・アップデート・ビュー**に入り、マニュアルアップデートを行います。
5. インストゥルメントを再起動し、[OK]をクリックします。ご使用の MiniBrute は、復元され、アップデートしました。